

事業	事業項目	内容	担当	4												備考 (活用予定の補助金等)				
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
人財育成事業	新入社員研修	新入社員から中堅社員まで一貫した教育によって生産性の高いエンジニアを養成するとともに、産学連携による教育カリキュラムによって先進技術を活用できる高度IT人材を育成する	人財育成(委)																	
	新入社員向け研修 (認定職業訓練) (IV-3-3.2-(1))	各社のニーズをもとに新入社員の個人の技術力・理解度を高める内容に技術系コースの再編を行ったうえで、「認定職業訓練」として実施する。 [テーマ] ①ビジネス基礎養成コース 4月4日(月)~4月13日(水) ②システム開発技術者育成コース 4月14日(木)~6月2日(木) ③業務システム開発プロジェクト演習 6月3日(金)~6月23日(木) ④新人研修フォローアップコース 8月30日(火)~8月31日(水)	人財育成(委)		実施①②③				実施④										2022年度はコロナ感染症もありオンライン(①②③④)で実施し、感染問題もなく計画通り完了した。なお、③のみ、受講会場として仙台市中小企業活性化センターを開放し、9名が利用した。 ①ビジネス基礎養成コース 49名(14社) ※定員50名 ②システム開発技術者育成コース 37名(10社) ※定員50名 ③プロジェクト演習コース 33名(9社) ※定員50名 ④フォローアップ研修 34名(8社) ※定員40名	
	ステップアップ研修 (IV-3-3.2-(3))	新入社員研修後の継続的な教育サポートによって技術・知識の定着を図るステップアップ研修を実施する。(1テーマ予定) また、先進技術を用いた実践的研修で高度ITエンジニアを育成する。 前年度テーマ Node.js集中講座 Java SE8新機能	人財育成(委)																AWSハンズオン講座 2023/2/14(火)・2/15(水) (2日間) 4社11名 (定員15名)	
	中堅社員向け研修 (IV-3-3.2-(2))abcd	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネジメント力の向上等に関する実践的研修を実施する。(2日×3コース) 前年度テーマ ①プロジェクトマネジメント研修【初級】 ②アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修 ③SEのためのチームマネジメント研修	人財育成(委)		準備	準備			実施(1)	準備	実施(2)			準備	実施(3)					①SEのためのコンサルティング・アプローチ(新規) 8月24日(水) (1日間) 8社16名 (定員15名) ②人に教える技術 9月15日(木)・9月22日(木) (2日間) 11社17名 (定員15名) ③プロジェクトマネジメント研修 初級 10月26日(水)・11月9日(水) (2日間) 13社20名 (定員15名) ④自己成長を加速！自立型中堅社員養成研修(新規) 12月7日(水) (1日間) 8社18名 (定員15名)
	次世代研修 (IV-3-3.2-(2))	トップリーダーの講演を通して、次世代に求められるスキルや考え方を学ぶ。(1日×2回コース)	人財育成(委)		準備					準備										本研修はディスカッション+懇親がメインの研修のため中止とした。(実績なし)
技術研修	技術紹介	先進技術(AI・データアナリティクス、IoT、ブロックチェーンや情報セキュリティなど)や話題のエンジニアの講義・講演等による技術紹介を実施する。 前年度テーマ ①今こそ知っておきたいDX 地方・中小企業での実践事例 ②AWSの基本が1日で学べる超入門講座	人財育成(委)		準備					準備									今期は2回予定したが、教育機関や関連業界からの持ち込み企画がなく実施に至らなかった。 今後も予定はない(実績なし)	
外部連携	外部連携スキーム検討	技術革新のスピードが速く社会人が業務上必要な知識や技術をアップデートする新たな研修スキームを検討する。 ①教育機関等と連携した研修スキームの検討 ②関連業界と連携した研修スキームの検討 ③技術者が集まったり先進技術を扱えるコミュニティの検討	人財育成(委)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		教育機関等と連携した研修スキームの実績なし。	

(注)1.事業項目欄の()内は事業計画書本文の項目Noを示す。